

WithSecure Elements Endpoint Protection 移行ガイド (Connector利用時)

WithSecure Elements Endpoint Protection 移行ガイド

Business Suite Client Security for Windows/Server Security製品から
WithSecure Elements Endpoint Protection（以下 WithSecure Elements EPP）
へのConnectorを利用する場合の移行ガイドになります。

＊本ガイドでは参考製品としてWithSecure Elements EPP for Computersを使用しています。

＊事前にConnectorの設定が必要です。

＊ソフトウェアアップデートを行う場合には、WithSecure Elements EPPへの移行後、端末側で証明書のインポートが必要です。

＊プロファイルの設定内容については、確認して下さい

1. 設定の移行

1-1. Policy Managerでの準備

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

2. WithSecure Elements EPPへの移行

2-1. Policy Managerでの移行作業

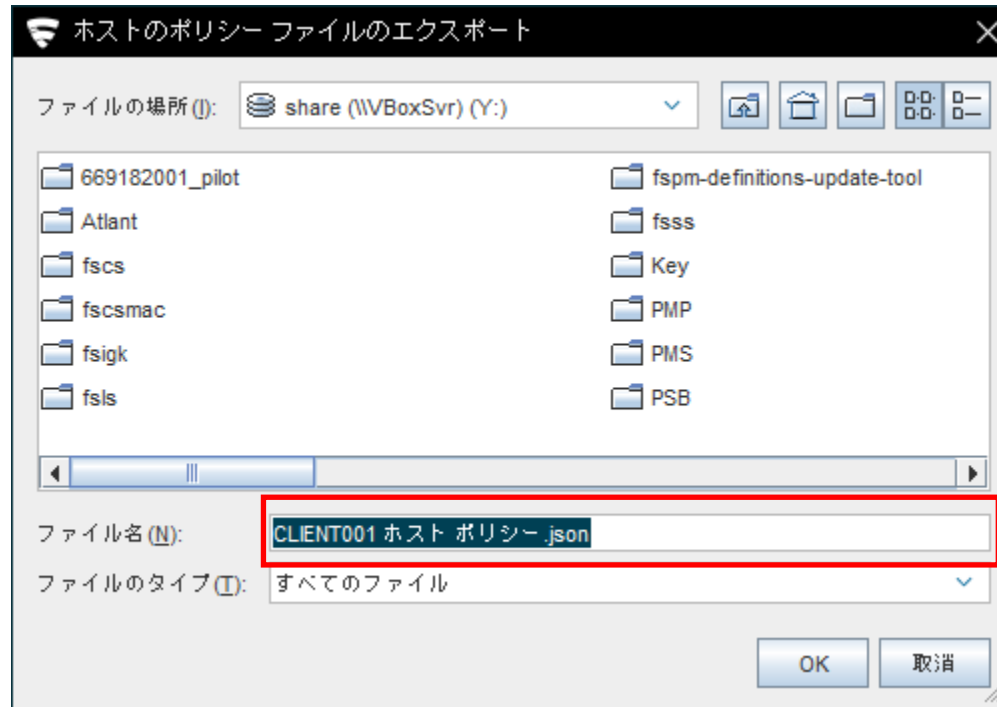
2-2. WithSecure Elements EPPへの移行確認

3. Elements Connectorの利用

1.設定の移行

1-1. Policy Managerでの準備

1-1. Policy Managerでの準備



ポリシーはjson形式で出力されます
(ファイル名を指定してください)

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

The screenshot shows the WithSecure Elements Security Center interface. The left sidebar contains navigation links: Home, Endpoint Protection, Dashboard, Devices, Software Updates, Reports, Licenses, Profiles, Downloads, Support, Accounts, and Security Events. The main content area is titled 'プロファイル' (Profiles) and includes a 'Create Profile' button. Below the title, there are tabs for 'Windows', 'Windows Server', 'Mac', 'Linux', 'Mobile Devices', and 'Connector'. A search bar and a 'Show All Profiles' button are also present. The main table lists profiles with columns: Profile Name, Status, Type, Description, Owner, Assigned Computers, and Actions. The 'WithSecure™ Office (open)' profile is highlighted with a red box, and its context menu is open, showing the 'Clone Profile' option.

プロファイル名	ステータス	タイプ	説明	所有者	指定されているコンピュータ	アクション
WithSecure™ Laptop (locked) (読み取り専用)			A laptop profile that is locked to prevent users from changing any settings.	システム	0	...
WithSecure™ Laptop (open) (読み取り専用)			A laptop profile that is open for users to change any settings.	システム	0	...
WithSecure™ Office (locked) (読み取り専用)			Office locked for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are not allowed to change security settings.	システム	0	...
WithSecure™ Office (open) (読み取り専用)			Office open for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are allowed to change security settings.	システム	0	...

WithSecure Elements Security Centerにログインし、
プロフィール画面を表示します
“...”メニューから「プロフィールをクローンする」を選択します

- プロフィールをクローンする
- プロフィールの比較と編集
- 「Windows Server」プロフィールにコピーする
- プロフィールを別のアカウントにコピーする

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

Windowsのプロファイル

プロフィール名

タイプ

“...”メニューから「プロフィールをインポート」を選択し、
先ほど保存したjsonファイルを選択します

一般設定

ウイルスのリアルタイムスキャン ☐

マニュアル スキャン ☒

ブラウザ保護 ☒

ファイアウォール ☒

ソフトウェア アップデータ ☒

デバイス制御 ☒

自動化されたタスク ☒

ネットワーク場所の設定 ☒

すべての設定をロックする

すべての設定を解除する

プロフィールをインポート

プロフィールをエクスポート

保存して発行

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

Windowsのプロファイル

...

ⓧ

プロファイル名

EPP移行

プロフィール名を入力します

タイプ

一般設定

ウイルスのリアルタイムスキャン

マニュアル スキャン

ブラウザ保護

ファイアウォール

ソフトウェア アップデータ

デバイス制御

自動化されたタスク

ネットワーク場所の設定

一般設定

このタブには、WithSecure™ Elements Agentのセキュリティ機能で共有される設定が含まれています。

クライアント ソフトウェアを誰よりも早く利用する ?	☐	
クライアントにユーザ インターフェースを表示する ?	☒	
自動更新 ?		
HTTP プロキシを使用 ?	ユーザブラウザの設定を検出	🔒
手動で定義されたプロキシアドレス ?		🔒
プロキシを介した強制接続 ?		🔒
プロキシの設定を隠す ?		🔒

各設定項目を確認し、問題が無ければ、「保存して発行」をクリックします

保存して発行

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

W/ Elements™

新着情報 ⓘ

◀

ホーム

ENDPOINT PROTECTION ^

ダッシュボード

デバイス

ソフトウェアのアップデート

レポート

ライセンス

プロフィール

ダウンロード

サポート

アカウント

セキュリティイベント

ENDPOINT DETECTION AND RESPONSE v

COLLABORATION PROTECTION v

管理 - Collaboration Protection v

プロフィール

すべてのプロフィール

デフォルトのプロフィール

プロフィール タイプ

このページでは、WithSecure™ Elements Endpoint Protection 内の各ソリューションのデフォルト プロファイルを確認できます。デフォルトのプロファイルは、EPP に追加された新しいデバイスに割り当てられます。以下でデフォルトのプロファイルを変更できます。EPP で Active Directory (AD) を使用している場合、AD グループに基づいてデフォルトのプロファイルを追加できます。AD グループのデフォルト プロファイルがない場合、代わりに企業のデフォルト プロファイルが使用されます。

デフォルト プロファイルの使用方法

新しいデバイス： デフォルトのプロファイルは、新しいデバイスが追加されたときに自動的に適用されます。
既存のデバイス： [今すぐ適用] ボタンをクリックすると、このページで定義されているように、すべての会社のデバイスがデフォルトのプロファイルを使用ようになります。

今すぐ適用

WithSecure Elements EPPのインストール時に、デフォルトで適応されるプロフィールを指定します

プロフィール タイプ	デフォルトのプロファイル名	ラベル	説明	システム	メニュー
Windows	WithSecure™ Office (open)		Office open for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are allowed to change security settings.	システム	変更
Mac	WithSecure™ Office for Mac (open)		Office open for accessing the Internet from a fixed location such as office premises. End users are allowed to change security settings.	システム	変更
Linux	WithSecure™ for Linux		Profile for Linux hosts. This profile does not configure all security features by default. Configure the security settings based on the requirements for Linux hosts in your network.	システム	変更

9

W / T H
secure

1-2. WithSecure Elements EPP での準備

The screenshot shows the 'WithSecure Elements EPP' interface. A modal dialog titled 'デフォルト プロファイルを変更する:' (Change Default Profile:) is open. It lists several profiles under the 'Windows' category. The 'EPP移行' (EPP Migration) profile is highlighted with a red rectangle. A green callout bubble with the text '先ほど作成したプロフィールを指定します' (Specify the profile you created just now) points to the 'EPP移行' option.

デフォルト プロファイルを変更する:

Windows

プロフィール名

- WithSecure™ Office (open)
- EPP移行**
- WithSecure™ Laptop (locked)
- WithSecure™ Laptop (open)
- WithSecure™ Office (locked)
- ✓ WithSecure™ Office (open)

キャンセル 変更

先ほど作成したプロフィールを指定します

2. WithSecure Elements EPP への移行

2-1. Policy Managerでの移行作業

F-Secure ポリシー マネージャ コンソール

admin @ https://localhost:8080

インストール

ルート > TEST1 > WIN-8ED8DDQQODV > インストール

インストール

新しいホストをインポート
ホストを自動インストールするためのルールを作成する、またはホストを手動でインポートします。

インストールパッケージ
インストール パッケージのインポートとエクスポートを行います。

Windows ホストを自動検出
Windows ドメインとホストを自動的に検出してソフトウェアをリモート インストールします。

[インストール] をクリックして、Windows ホストをインストールする...
IP アドレスまたはホスト名に基づいて、特定の Windows ホストにソフトウェアをリモート インストールします。

ソフトウェア ダウンロード
F-Secure 製品の最新版をダウンロードします。

インストールされている製品

製品	バージョン	カウント	処理
F-Secure サーバ セキュリティ プレミアム	15.30	1	修復 アンインストール
F-Secure サーバ セキュリティ プレミアム	合計	1	

ポリシーベース インストール

#	インストールされた製品	バージョン
1	ドメイン "ルート" で、F-Secure	ミアム 15.3...

移行対象のクライアント(もしくはグループ)を選択し、インストールボタンをクリックします

インストール...

2-1. Policy Managerでの移行作業



2-1. Policy Managerでの移行作業



以下のURLよりダウンロードしたファイルを選択し、インポートを完了させます

<https://download.withsecure.com/PSB/bs2cp/bs2elements.jar>

2-1. Policy Managerでの移行作業

COMPUTER
PROTECTION

F-Secure

サブスクリプションキー

製品のサブスクリプションキーを指定します。

間違ったサブスクリプションキーを入力すると、インストールがで、正しいキーを入力したかどうか確認してください。

キーコード: - - - -

キャンセル

< 戻る

次へ >

完了

WithSecure Elements EPP 製品のライセンスキーコードを貼り付けます

2-1. Policy Managerでの移行作業



The screenshot shows a software window titled "COMPUTER PROTECTION" with the F-Secure logo in the top right corner. The main heading is "製品の言語" (Product Language). Below it, a message says "製品で使用する言語を選択してください。" (Please select the language to use in the product). A dropdown menu is set to "日本語" (Japanese). At the bottom, there are four buttons: "キャンセル" (Cancel), "< 戻る" (Back), "次へ >" (Next), and "完了" (Finish). The "次へ >" button is highlighted with a red rectangle.

COMPUTER PROTECTION F-Secure

製品の言語

製品で使用する言語を選択してください。

日本語

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

2-1. Policy Managerでの移行作業

COMPUTER PROTECTION

F-Secure

再起動オプション

PSBへの移行には再起動が必要な場合があります。コンピュータを再起動するタイミングかを指定できます。

☒ 再起動する前にユーザに確認する

☐ 次の時間が経過したら再起動する: 時間 分

キャンセル

< 戻る

次へ >

完了

2-1. Policy Managerでの移行作業



The screenshot shows a dialog box titled 'COMPUTER PROTECTION' with the F-Secure logo. The main heading is 'インストールタグ' (Installation Tags). Below it, there is explanatory text about the 'installation-tags' parameter and the PSB (Backend Portal) reporting mechanism. Two radio buttons are present: 'インストールタグを設定しない' (Do not set installation tags) which is selected, and 'インストールタグ:' followed by a text input field. At the bottom, there are four buttons: 'キャンセル' (Cancel), '< 戻る' (Back), '次へ >' (Next), and '完了' (Finish). The '次へ >' button is highlighted with a red rectangle.

COMPUTER PROTECTION F-Secure

インストールタグ

exeインストーラの`-installation-tags`パラメータと同じです。バックエンドポータル（PSB）に報告するインストールタグです（例：PSB=psb-tag1:psb-tag2:psb-tag3,department=accounting,role=secretary）。

現在、PSBは「PSB=psb-tag1:psb-tag2:psb-tag3」から「label」フィールドまでのこれらのタグをカンマ区切りの値として格納しています。文字列の最大長は255文字です。これらのタグはカンマやコロンを含めることはできません。

☒ インストールタグを設定しない

☐ インストールタグ:

キャンセル < 戻る **次へ >** 完了

PSB=ラベルを設定する事が可能

Element Security Centerの“デバイス”タブ内のデバイス表示でTeam/Groupなどラベルを付ける事が可能。

***日本語の入力は不可（ローマ字のみ）**

日本での入力が必要な場合は、Element Security Centerで、入力を行って下さい

2-1. Policy Managerでの移行作業

COMPUTER PROTECTION F-Secure

プロフィールID

COSMOSの設定でプロファイルIDの値を設定します。プロファイルIDは、URLの中にあることがわかります。
例：https://emea.psb.f-secure.com/#/c9653487/profiles/computer-protection/edit/18062053/generalSettings.

☒ プロファイルIDを設定しない

☐ プロファイルID:

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

Elements Security Centerの
プロフィールの番号(例 18062053)を
設定すれば、指定したプロフィールが
適用が可能。

Elements EPPでConnector用のプロ
ファイルを作成し、プロファイルIDを
入力

2-1. Policy Managerでの移行作業

COMPUTER PROTECTION F-Secure

プロキシ

ダウンロードに使用するプロキシをオーバーライドします。例: `http://proxy.gtn:3128`

☒ プロキシの設定を上書きしない

☐ プロキシアドレス:

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

端末側ConnectorのIPアドレスを入力

例 `http://192.168.30.136`

2-1. Policy Managerでの移行作業

COMPUTER
PROTECTION

F-Secure

SMBIOS GUID

PSBでのCitrixサポートの場合、このマシンの一意の識別子としてSMBIOS GUIDを使用します。

同じマシン（同じSMBIOS GUIDを持つ）が、同じサブスクリプションキーで再度インストールまたは登録を行うと、ポータル上に新しいデバイスを作成する代わりに、ポータル上の同じデバイスに接続されます。

☒ SMBIOS GUIDを使用しない

☐ SMBIOS GUIDの使用を有効にする

キャンセル

< 戻る

次へ >

完了

2-1. Policy Managerでの移行作業

F-Secure ポリシー マネージャ コンソール

admin @ https://localhost:8080

インストール Active Directory のドメイン 操作 データマイニング

設定完了後、ポリシーを配信します

インストールパッケージ

インストール パッケージのインポートとエクスポートを行います。

ソフトウェア ダウンロード

F-Secure 製品の最新版をダウンロードします。

Windows ホストを自動検出

Windows ドメインとホストを自動的に検出してソフトウェアをリモート インストールします。

インストールされている製品

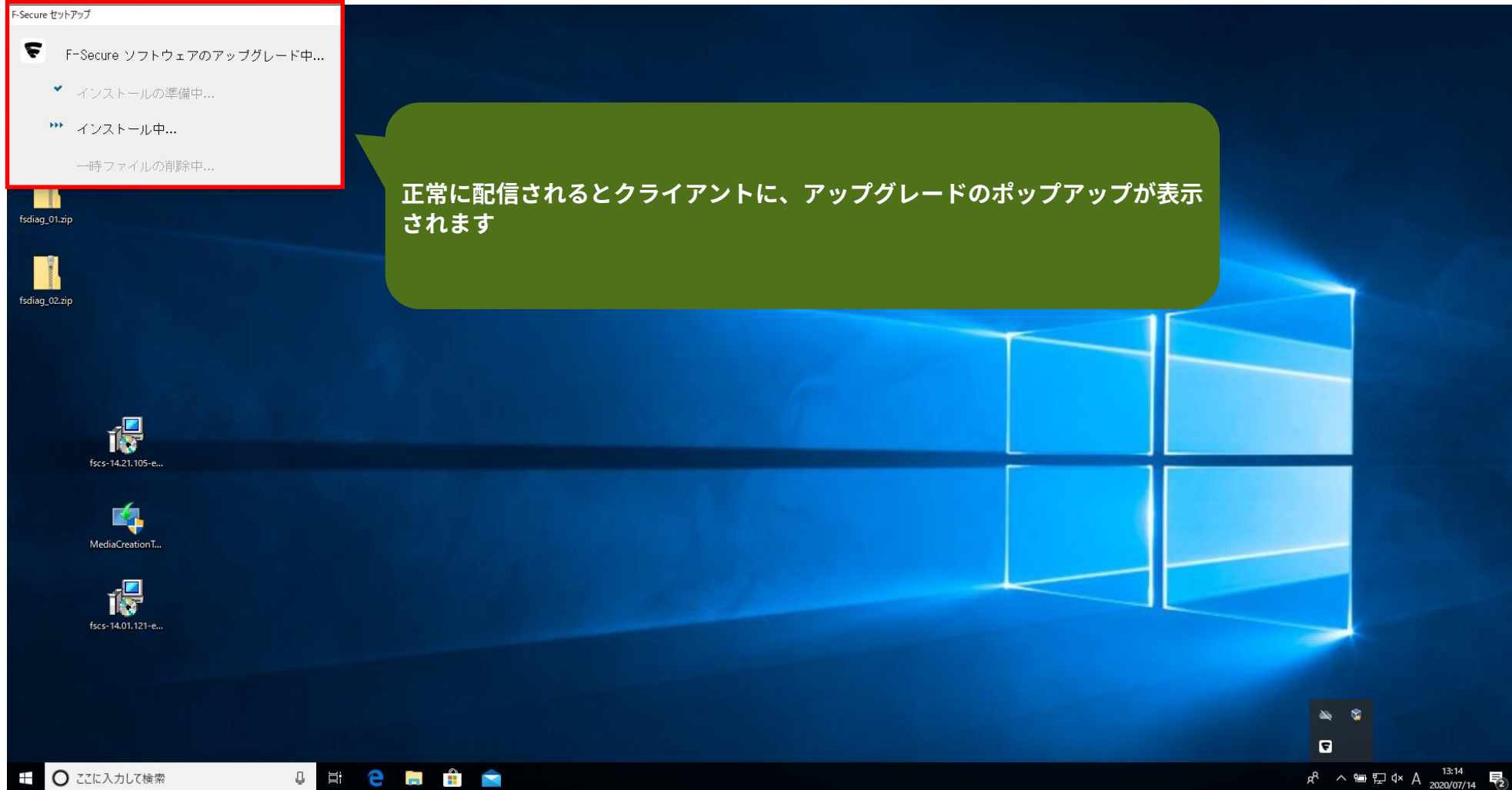
製品	バージョン	カウント	処理
F-Secure クライアント セキュリティ	15.30	1	アップグレード 修復 アンインストール
F-Secure クライアント セキュリティ	合計	1	

ポリシーベース インストール

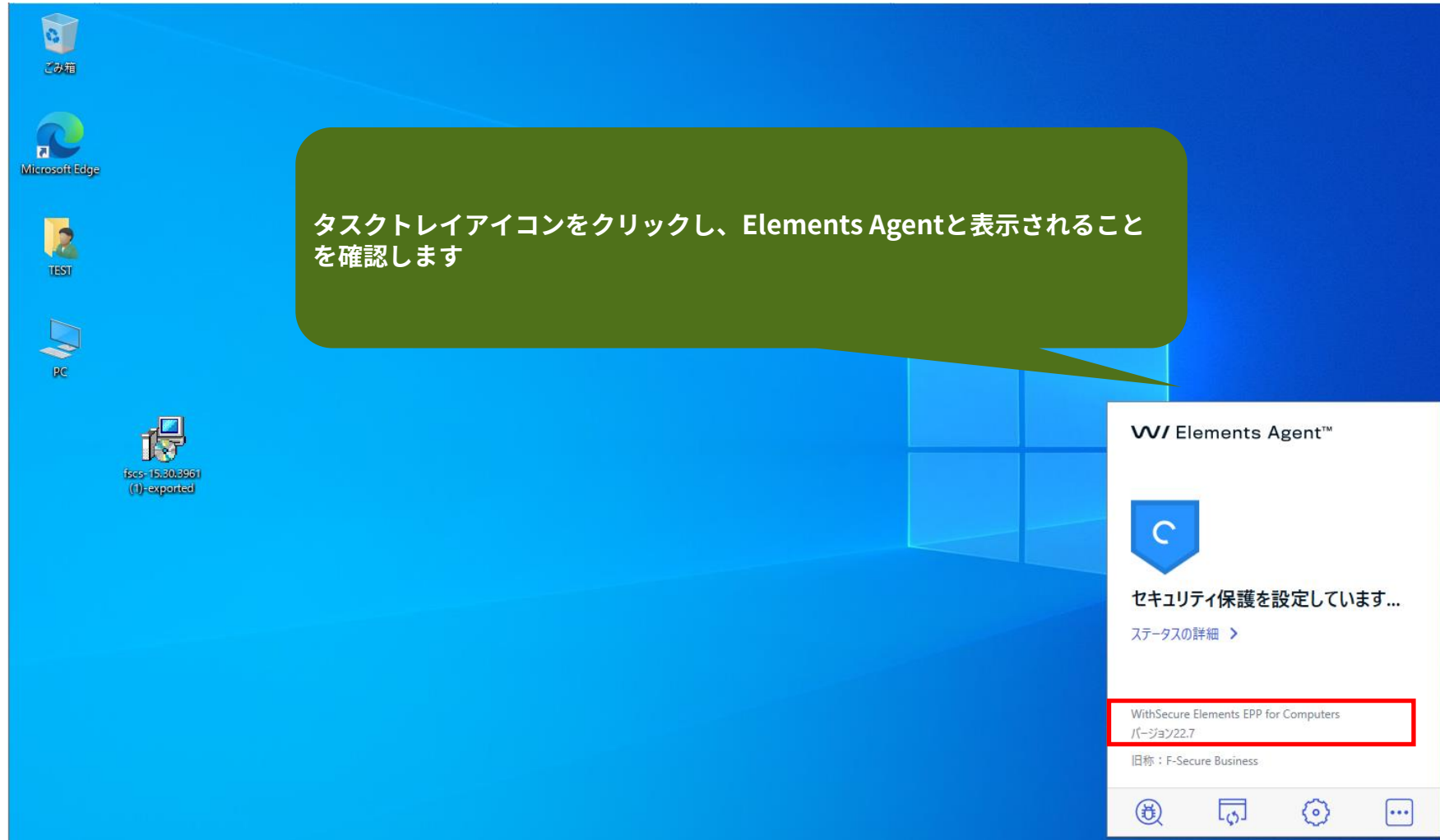
#	処理	ステータス
1	ドメイン "ルート" で、F-Secure サーバ セキュリティ プレミアム を 15.01 から 15.30 にアップグレードします	該当なし。製品がインストールされていません
2	ホスト "DESKTOP-KL82J7E" に WithSecure Elements Agent 22.4 をインストールしています	ポリシーの配布後に開始されます

インストール... 行を消去 テーブルを消去 テーブルを強制適用

2-1. Policy Managerでの移行作業



2-1. Policy Managerでの移行作業



2-2. WithSecure Elements EPPへの移行確認

W/ Elements™

新着情報 ⓘ ⓘ

デバイス ...

コンピュータ モバイル デバイス Connector 保護されていないデバイス ⓘ 表示: Overall status ▾

フィールドを選択 ▾ に等しい ▾ 値を選択してください ▾ 適用 すべてのフィルタを消去

1 - 2 / 2 < > ⓘ 🔍 デバイスを検索 × ||| ≡

☐	デバイス名	オンライン ⓘ	登録日	OS 名	指定プロファイル	ステータスの更新日時	クライアントバージョン	マルウェア保護 ⓘ	ソフトウェアアップデートのステータス ⓘ
☐	DESKTOP-KL82J7E	はい	Nov 21, 2022	Windows 10	WithSecure™ Office (open)	Nov 21, 2022, 4:15:08 PM	22.7	有効	重大なセキュリティアップデートが適用されてい
☐	WIN-E3AP4FQ6CUO	はい	Nov 21, 2022	Windows Server 2019	WithSecure™ Server	Nov 21, 2022, 4:21:28 PM	22.7	有効	

Elements Security Centerにログインし、接続できていることを確認します

3. Elements Connectorの利用

3. Elements Connectorの利用

Elements Connectorの利用をする場合には“準備1-2. WithSecure Elements EPP での準備”でプロファイルの作成をする際に、以下の項目を追加する必要があります。

＊事前にElements Connectorの端末を準備しておく必要があります。

＊Connectorのプロファイル設定/クライアント端末側の設定

[一般設定]

Windowsのプロファイル
JP Naithi

指定されているコンピュータ: 1
更新日: 2022/06/08 10:58
プロファイルID: 9246714

プロファイル名 Win_naithi_01

ラベル

説明 Elements Connector

一般設定

このタブには、WithSecure™ Elements Agentのセキュリティ機能で共有される設定が含まれています。

ウイルスのリアルタイム スキャン	クライアント ソフトウェアを最も早く利用する	☐	
マニュアル スキャン	クライアントにユーザ インターフェースを表示する	☒	
プラグザ保護	自動更新	☒	
ファイアウォール	手動で定義されたプロキシアドレス	192.168.72.51	🔒
ソフトウェア アップデータ	HTTP プロキシを使用	リモート管理	🔒
デバイス制御	HTTPSを使用してアップデートをダウンロードする	☐	🔒
自動化されたタスク	直接接続ではなく、プロキシを使用する	☐	🔒
PREMIUM	プロキシの設定を隠す	☐	🔒
データガード	WithSecure™ Elements Connector	192.168.72.51	🔒
アプリケーション制御	クライアントにNETの管理を許可する	☒	🔒
	すべてのセキュリティ スキャンからファイル/フォルダを除外する		🔒
	例外を追加		🔒

OK

W / T H[®]
secure